

季刊

博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp>

104

企画展

小さなもの集まれ!

— 雑道具から古民家模型まで —

福島県立博物館



企画展

「小さなもの集まれ！― 雑道具から古民家模型まで―」

心楽しむ極小の美・雑道具！ 思わず見とれる驚異の技・古民家模型！

千点を超える極小雑道具、川内コレクション初公開！

熱中人夢想庵の驚異の古民家模型六〇点以上一挙公開！

会期：二〇二二年五月二三日（日）まで

会場：福島県立博物館企画展示室



雑道具 広蓋でギヤマンが乗っている 川内由美子氏蔵



雑道具 食べ物 川内由美子氏蔵

大好評のミニチュアの展覧会です。

なんととっても会場に一歩足を踏み入れると楽しい気持ちになってしまうのが不思議です。でも、これだけ小さなすごいものが集まっているのだから、当然と言えば当然のことですよ！

展示室に入るとまずたくさん小さな雑道具に囲まれます。「雑道具」って「お雑様のときに飾ってあるあれね」なんてたかをくくっているの衝撃を受けますよ。だって、とにかく小さくって精巧で可愛いからです。これはみなお一人で集めたものなのです。どんなに立派でも大きなものは関心外、という川内由美子さんのコレクションです。しかも一〇〇〇点を超えるとなると、量でも圧倒されてしまいます。

その次に登場するのが茅葺の古民家たちです。その数六〇以上。展示室に急に村ができたみたいです。このすごい模型をたつた一人で作り上げたのがいわき市在住の菅野清八さん。茅葺が好きで、しかもそこで生活している家に興味があるという方です。茅葺の屋根には自信があると言ってらっしゃいました。洗濯物が干してあったりテレビのアンテナがあつたりと、生活しているということが分かるような表現が多数あつて、楽しみ倍増です。

さらに、小さな着物や洋服も展示してあります。これは裁縫雛型といって、裁縫を習う時にお勉強として作っていたものです。それから、東京都八王子市の安藤やす江さんが集めた着物を五分の一に仕立て直したのも見応え充分です。小さな着物にはいつどういいう人が織った布でどの年齢の人が着たかなどの情報がちゃんと付いているからです。もちろん見るだけでもちゃんと楽しめます。

それから忘れてはならない柳津の微細彫刻。柳津の虚空蔵尊圓蔵寺の門前に伝えられてきたとっても小さな信仰の木彫。あまりの小ささにびっくりです。



微細彫刻 七福神 富仙作



弘前市の茅葺古民家模型 菅野清八氏製作



スイーツ・デコレーション 湯田由記子氏製作



着物雛型 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館蔵

まだまだあって、なんとスイーツ・デコレーションが博物館でデビューです。これは最近の流行ですよ。若い女性には意外なほどうけています。
とにかく、とことん見る楽しみに浸れる展覧会です。生きてよかった（さすがに大袈裟ですね、これは……）と思えるほど。博物館で幸せになつてください！

■主な展示資料

- 雛道具（川内コレクション） 東京都・川内由美子氏蔵
- 茅葺古民家模型 いわき市・菅野清八氏製作
- 裁縫雛型 須賀川市立博物館蔵・当館蔵
- 着物雛型（安藤やす江さん製作） 東京都・国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館蔵
- 微細彫刻 柳津町・金坂富山氏蔵・製作
- スイーツ・デコレーション 会津若松市・湯田由記子氏製作

ギャラリートーク

四月八日（日）午後一時三〇分

川内由美子さん「雛道具、川内コレクションについて」

展示解説会

四月一五日（日）午後一時三〇分

イベントレポート

会津・漆の芸術祭2011 ～東北へのエール～

二〇一一年一〇月一日(土) から一月二三日(水・祝)まで、会津若松市内・喜多方市内の店舗や空き蔵などを会場として開催した会津・漆の芸術祭2011。東日本大震災を受けて「東北へのエール」をサブテーマに掲げて開催しました。会期前から会期終了後にかけて行った二〇の主催イベントから、会期中に行ったトークイベントとシンポジウムをご紹介します。

CINE上映+トークイベント

「REQUIEM」

日時：一〇月一五日(土) 一三時三〇分～一六時〇〇分

出演者：吉増剛造(現代詩人) × 赤坂憲雄(会津・漆の

芸術祭ディレクター/当館館長)

会場：末廣酒造嘉永蔵

二〇一〇年に会津の漆を取材し映像作品「The

Voice of 漆(しつ) — 会津にて —」を制作した現代詩人の吉増剛造氏を招き、映像を上映。赤坂館長との対談形式で制作に関わること、映像作品を踏まえての現在の福島状況、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故からの鎮魂と再生について語り合いました。

トークイベント

「残せるかふくしまの未来～絵本の力～」

日時：一〇月二三日(日) 一三時三〇分～一六時〇〇分

出演者：飯野和好(絵本作家) × ささめやゆき(絵本作家)

× あべ弘士(絵本作家・元旭山動物園飼育係)

× 佐藤弥右衛門(大和川酒造九代目当主・いい

だてまでい大使)

会場：大和川酒蔵

絵本作家の三氏をお招きし、東日本大震災後に感じた絵本の力について語り合いました。人と自然の関わり、自然の素晴らしさ、人間の愚かさ、動物の生命力。各人がこれまで主題としてきたことを振り返りつつ、絵本という媒体で伝えることの意義を改めて考える機会となりました。会場オーナーであり、原子力発電所事故で全村避難となった飯館村のまでい大使を務める佐藤弥右衛門氏からのメッセージもありました。

シンポジウム

「アートにできること、できたこと」

日時：一〇月一九日(土) 一三時三〇分～一七時

パネリスト：吉田重信(アーティスト) × 渡邊晃一(アティ

スト・福島大学准教授) × 北澤潤(アティ

スト)、コーディネーター：川延安直(福島県立博

物館専門学芸員)

会場：大和川酒蔵

東日本大震災後いち早くアートによる支援活動を展開してきた三人のアーティストを招き、各者の活動報告を聞きながら現在の福島にとって必要なことやアートに何ができるのかについて語り合

いました。精神的な面でのサポートやコミュニティの再生においてアートが重要な役割を果たせることを会場と共有でき、今後の指針を得ることができました。



CINE上映+トークイベント「REQUIEM」の様子



トークイベント「残せるかふくしまの未来～絵本の力～」の様子

ここでご紹介したイベントのボイスリライトを、会津・漆の芸術祭HPで公開しています。各イベントにご出演くださったみなさんからの福島への温かいメッセージ、心に響く言葉を余すことなくお伝えしています。PDFをダウンロードの上、ぜひご覧ください。

(美術担当：小林 めぐみ)

Q…開催中の企画展「小さなもの集まれ！」には小さいものがたくさん展示されていて楽しそうですが、その中で一番小さなものは何ですか？

A…もつとも小さいのは柳津の微細彫刻です。柳津町の虚空蔵尊圓蔵寺さんの門前に伝えられた小さな小さな仏様や神様の木彫です。

Q…古い歴史があるのですか？

A…円蔵寺秘録という文書の中には、富山西道和尚が天正六年（一五七八）、織田信長に謁見した帰りに胡桃の厨子に納められた四体の仏様を拾い持ち帰ったものを広めたということですから、その歴史

「柳津の微細彫刻」

は四〇〇年以上さかのほるといふことになります。

Q…その持ち帰ったものが今でもお寺にあるのでしょうか？

A…江戸時代に会津藩が編纂した『新編会津風土記』に記載されている圓蔵寺宝物に

「大黒立像 一軀、長五寸、空海作

金剛二王立像 一軀、長四寸、同上」

「虚空蔵小像 一軀、長二寸、厨子入

七福神小像 榎実ノ中ニ納ム」

などと出ているところを見ると、確かに宝物としてあったようですが（大黒と金剛はちょっと大きすぎ

るようにも思えますが）、現在どうなっているかは確かめていません。

Q…四〇〇年以上作り続けられてきたというのはすごいですね。

A…実際にこの技術がずっと伝えられてきたかは分からないのです。というのは、明治時代に入ると月本墨仙という方が中興の祖となり、後継者を育てたのだそうです。そこにそれ以前との技術の伝承があったのかどうかは不明です。しかし、現在では金坂富山さんお一人が父親の富山さんを継いでこの技術を伝えていきます。



Q…いま開催中の企画展を見たら、「微妙彫刻」と書いた古い木版で刷ったものが展示してありましたが、名前が変わったのですか？

A…そうなんです、富山さんのお父さんのところに、微妙彫刻から微細彫刻へと名前を変えたそうです。

「微妙」という言葉の感じられ方が以前と異なってきたため、「微細」としたそうです。広辞苑には「美しさや味わいがなんともいえずすぐれているさま」「細かいところに複雑な意味や味が含まれていて、なんとも言い表しようのないさま」とあり、現代でのように否定的な意味合いはみられません。

Q…どこで見ることが出来ますか？

A…展覧会会期中は展示室で展示しています。それから、柳津の金坂富山さんの工房や道の駅では購入することもできます。他に類を見ない会津、いや福島の誇りとなるような素晴らしい彫刻です。



微細彫刻 恵比寿大黒 富仙作

絵馬にみる地域の歴史と文化

内山 大介 民俗担当

現在、我々が一般に目にする「絵馬」は願い事を書いて寺社に奉納する小さな板ですが、これには長い歴史があります。古くは奈良時代からみられ、室町期には大型の絵馬が奉納されるようになり、江戸時代になって図柄や祈願内容も多彩になり現在の形になったといわれています。そしてそれは、かつて生きている馬を神に献上する慣習があり、それが木製・土製の馬を奉納する形へと変化し、最終的に現在のような馬の絵が描かれた板になったという考えが一般的です。但し、民俗学者の柳田国男は論考「絵馬と馬」(昭和五年)や「板絵沿革」(昭和一六年)で、絵馬には馬以外の様々な絵柄があることなどから、絵を神仏に奉納する慣習は古くから存在したと指摘しています。その起源については諸説があつて未だ結論は出ませんが、しかし寺社に奉納された古くからの絵馬を調べると、大きさや形、図柄など様々なものが存在することは確かです。そこには奉納者の祈りが垣間見えますし、またそれは地域の生活の歴史や多様な文化を物語る歴史的資料でもあります。

今回ご紹介するのは須賀川市の旭ヶ丘公園内にある朝日稲荷神社の絵馬です。昨年、県立博物館に寄託資料として収蔵されたその資料は、三月に起きた東北地方太平洋沖地震により被災した社殿から救出



資料救出の様子

されたものです。震災の影響により、当神社は二階建ての朝日会館と呼ばれる建物が全壊、また鳥居や多数の石造物が損壊するなど、甚大な被害を受けました。しかし神が祀られる本殿と、祭祀を行う拝殿は倒壊寸前で持ちこたえ、そこに奉納さ

れた多数の絵馬は無事に残されました。調査の結果、それらは地域の歴史を掘り起こすことのできる貴重な資料群であることが分かり、博物館での収蔵が決まったのです。救出された絵馬は博物館に搬入の後、クリーニング、写真撮影、整理作業、データ入力、燻蒸処理を経て保管されました。

絵馬はそのほとんどが大絵馬で、時代は江戸から平成にまで及び、総数一〇八点を数えます。最も古い絵馬として文久二年(一八六二)の「神馬押絵額」があり、また全体の中では明治期の年号をもつものが七割と圧倒的多数を占めています。内容としては神社参詣記念の絵馬が多くみられ、また貴重なものでは会田青嶂や大野松岳、徳田研山といった地元ゆかりの絵師による美術的価値の高い作品や、養蚕や農業の豊作を祈願したもの、類例の少ない農具模型の奉納絵馬、須賀川の銘酒を生んだ蔵元による奉納



左：繭額、右：会田青嶂筆「劉備・関羽・張飛図」



市・本宮市あたりから、南は白河市・棚倉町までの中通り中南部地域一帯に広がり、須賀川を中心にして朝日稲荷神社が広く信仰を集めていた様子がうかがえます。

今回行われた資料救出活動と貴重な絵馬をご紹介する機会として、当館では特集展「朝日稲荷神社の絵馬―救出された須賀川の文化財―」(会期：五月二四日～六月一七日)を開催します。須賀川市域は震災の被害も大きく、原発による放射線の問題もあり復旧・復興は未だ困難な状況にあります。地域の個性を物語る資料をご覧いただくことで、郷土のこれまで歩みを考え、次代へとつなげる契機となればと思います。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

額、あるいは村芝居の公演記念の絵馬などが挙げられます。農耕や養蚕、酒造といった生活の歴史や、絵師の活躍による地元の芸術文化など、これらは須賀川や周辺地域の歴史を色濃く反映するものといえるでしょう。その奉納者に注目すると、須賀川を中心

は現在の二本松

テーマ展 ふくしまの画人たち 佐竹永海

会 期：4月28日（土）～6月3日（日）
 会 場：常設展部門展示室 歴史美術
 観覧料：大人・大学生260円（常設展料金でご覧になれます）、小中高生無料

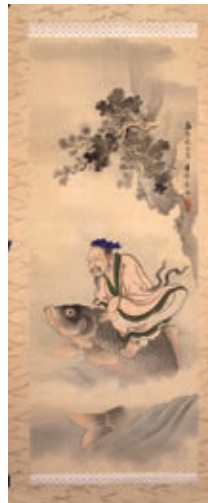
江戸時代後期の会津若松城下に生まれた佐竹永海は会津を代表する画人。江戸画壇の大御所・谷文晁のもとで頭角を現し、彦根藩井伊家の御用を勤めるまでになります。谷文晁の画風に大和絵をミックスしたおだやかな画風を紹介。



（左福）
佐竹永海「源氏物語」



（右福）
須磨・明石図



佐竹永海「琴高仙人図」



佐竹永海「諸画押絵貼屏風」

夏の企画展 予告

恐竜時代のふくしま

地球の長い歴史の中で、中生代は地球上で恐竜が大活躍していた時代です。福島県の太平洋岸に分布する相馬およびいわき地域の中生代の地層から、近年、恐竜をはじめとする脊椎動物・アンモナイト・昆虫・植物化石など、新種を含めた世界的に貴重な化石の発見が相次いでいます。展示では、これらの化石と化石を産する地層をもとに、恐竜時代のふくしまの生き物たちや当時の環境を復元します。

また、本県太平洋岸の化石を広く紹介し、同時に企画展のダイジェスト版を相馬地域で移動展として公開する事により、東日本大震災から復興する地域の支援にも役立てたいと考えています。

大型の恐竜の全身骨格も展示します。夏休みの期間、太古の世界をお楽しみください。

（自然担当）
みください。

竹谷陽二郎



直径35センチに達する
アンモナイト
南相馬市原町区産
八巻安夫氏蔵

■会期 平成二四年七月一四日（土）～九月一七日（月・祝）

企画展

「小さなもの集まれー雑道具から古民家模型までー」
会期 2月18日(土)～5月13日(日)

◎冬の企画展関連行事

ギャラリートーク「雑道具 川内コレクションについて」
日時 4月8日(日) 13時30分～14時30分

会場 福島県立博物館企画展示室

講師 雑道具研究者 川内由美子さん

「小さなもの集まれー」展示解説会
日時 4月15日(日) 13時30分～14時30分

会場 福島県立博物館企画展示室

講師 福島県立博物館学芸員 榎 陽介

特集展

※常設展料金でご覧になれます

「朝日稲荷神社の絵馬ー救出された須賀川の文化財ー」
会期 5月24日(木)～6月17日(日)

テーマ展

※常設展料金でご覧になれます

「ふるさとの考古資料2ー『云津美里町』遺跡探訪ー」
会期 平成23年6月4日(土)～平成24年5月13日(日)

「旧家の美術」
会期 3月3日(土)～4月15日(日)

「ふるさとの考古資料3 館蔵『9人のコレクション』展」
会期 6月5日(火)～平成25年5月12日(日)

「云津絵」
会期 6月9日(土)～7月16日(月・祝)

◎テーマ展関連行事

「ふくしまの画人たち 佐竹永海」展示解説会
日時 4月28日(土) 13時30分～14時30分

会場 福島県立博物館部門展示室「歴史・美術」

講師 福島県立博物館学芸員 川延安直

「云津絵」展示解説会
日時 6月16日(土) 13時30分～14時30分

会場 福島県立博物館部門展示室「歴史・美術」

講師 福島県立博物館学芸員 小林めぐみ

ふるさとの考古学3講演会「福島県考古学史(仮題)」
日時 6月24日(日) 13時30分～15時
会場 福島県立博物館講堂
講師 福島県考古学会顧問 中村五郎さん

ポイント展

※常設展料金でご覧になれます

「小さな雑器」
会期 2月23日(木)～4月3日(火)

「近世に書かれた中世の城絵図」
会期 4月21日(土)～6月15日(金)

「会津城修補絵図」
会期 4月21日(土)～6月15日(金)

「山姥のこもじ」
会期 4月25日(水)～6月6日(水)

ミュージアムイベント

「わくわくワークショップフェス」
日時 5月19日(土) 13時30分～

会場 福島県立博物館 エントランスホール・
体験学習室・実習室

参加者 アーティストのみなさん

「会津の民謡／東北の民謡」
日時 6月9日(土) 13時30分～

会場 福島県立博物館 エントランスホール

出演 玄如節顕彰会のみなさん

木曜の広場

「老嫗茶話」を読む1
日時 4月19日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

「老嫗茶話」を読む2
日時 5月17日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

「老嫗茶話」を読む3
日時 6月21日(木) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 館長 赤坂憲雄

講演・講座

※は要申込

○民俗講座

収蔵庫から「衣のコレクション」
日時 6月30日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 学芸員 榎 陽介

○歴史講座

会津の寺宝・名僧1
日時 5月12日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 学芸員 佐藤洋一・高橋 充

会津の寺宝・名僧2
日時 5月26日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 学芸員 古山智行・高橋 充

会津の寺宝・名僧3
日時 6月2日(土) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館講堂

講師 学芸員 阿部綾子・高橋 充

※会津の寺宝・名僧4
日時 6月23日(土) 13時30分～15時

会場 会津若松市内

講師 学芸員 高橋 充ほか

○実技講座

※「小旗をつくらう」
日時 5月5日(土・祝) 13時30分～15時

会場 福島県立博物館体験学習室

講師 伝統技術保持者 大野青峯さん 大野久子さん

実演

「昔語り1」
日時 4月22日(日) 13時30分～15時30分

会場 福島県立博物館体験学習室

講師 語り部 横山幸子さん

やさしい展示解説

※展示解説員による常設展総合展示の案内です。

*毎週土曜日、日曜日の10時30分と14時から30分ほど行います。

*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始しますが、異なる場合もありますのでお問い合わせください。

*その他、行事等の詳細に関しては、月行事予定やホームページをご覧ください。

常設展無料開放日

5月5日(土) こどもの日

4月～6月の休館日

4月 2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)
5月 7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
6月 4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・
26日(火)